



れるやうになります。

こうみて参りますと婦人參政權は婦人を家庭から追出し、婦人としての務めである育兒、臺所等の仕事を棄てさせる所か、國府縣、市町村と云ふものを家庭の延長乃至は大きな家庭とみて、その政治に今迄欠けてゐた女らしさを補はうとするものです。言ひ換れば今迄男だけの鰥夫暮らしで行届かなかつた所を婦人が帯や雑巾を持つて行つてお掃除をする、さうして總べての人達に取つて住み心地良い所としようと思ふのです。これは單なる豫想や獨斷ではなく既に歐米諸國の婦人に參政權を與へた國では著々事實となつて現はれてゐます。

それで日本に於ても出来るだけ早く婦選を與ふ可きで、一日早ければ、それだけ國家の幸福を増進するものだと思ひます。

然しこれ程大切な婦選でも女の人が座り込んで何時になつたら與へられるか判りません。現在でも誤解から或は單なる感情から反對してゐる人が相當にあります。

そこで如何しても欲しいと思ふ人が立ち上つて運動をしなくてはならない事になります。尤も運動すると云つても必ずしも其の先頭に立つ必要はありません。それは出来る人に任せ臺所から、工場から事務所から一人でも多く後押しをすべきだと思ひます。

今日婦選を取る爲めに作られた婦人の團體は澤山ありますが最も有力な團體は現在私が屬して居ります婦選獲得同盟だと思ひます。